

牧小だより



心ゆたかに たくましく 生きぬく子

■ 4月、5月を子供たちとともに過ごせる“あたりまえ”を実感しながら

先日は授業参観にご来校いただき、ありがとうございました。4月から担任と創っている学級の様子、学習活動の様子を見ていただきました。4月は、それぞれの学年で身に付けさせたい力を出口のイメージとし、子供たちと学習活動の約束を確認しながら取り組んできました。これからも「子供のやる気につながり、子どものためになるか」をすべての判断基準として、子供たちのよさを見つけ、引き出し、つないで拓くことに努めます。個々のよさを達成感・成就感につなぎ、認め合いにつなぎ、自己実現につないで、子供たちの未来を拓くことを目指します。牧小学校は、永い図書館教育の取組があり、今年度よりコミュニティ・スクールとして始動し、子供たちの社会形成能力の育成に十分な土台があります。他に例のない牧ブランドの中で、保護者の皆様、地域の皆様と協働して“牧の子供”を育てたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

以下は、4月7日の始業式で子供たちに話した内容です。

これから、二つの話をします。

一つ目は、牧小学校みんなの目標についての話、二つ目は、自分の得意なことを伸ばそうという話です。

まず、一つ目の話です。牧小学校の教育目標は「心ゆたかに たくましく 生きぬく子」ですね。1年の始めに、仲間とともにかがやくためにがんばっていきたいことを確認します。

「考える子」になってください。授業でよく考え、学ぶことは当たり前です。それ以外にも、友達の言うこと、言いたいことをよく考えましょう。そのためには、しっかり聞くことが大切です。しっかり聞いて、よく考えましょう。「助け合う子」になってください。毎日、学校に来ることができるのはうれしいことです。友達と会い、一緒に勉強したり遊んだりできるのはうれしいですね。友だちを思いやり、大事にすると、自分も気持ちよくなり、笑顔で過ごせます。「さん」付けで呼び合って、仲間一人一人を大事にして過ごしましょう。「きたえる子」になってください。学校に登校して、友達と一緒に活動するためには、元気な体が必要です。時には、かぜをひいたり病気になることもあります。その時は、お医者様の力を借ります。では、自分でできることは何でしょう。危険なことをしないことです。自分や友だちの体や心を傷つけることをしないことです。

次に、二つ目の話です。みなさんの得意なことは何ですか。先生たちは、みなさんのその得意なことをもっと伸ばしていけるように応援したいと考えています。どの子にもそうします。みなさんの苦手なことは何ですか。苦手なことがあっても、少しも恥ずかしいことはありません。先生たちは、みなさんの苦手なことについても応援します。どの子にもそうします。安心して、先生たちの力を借りながら、自分や仲間を自慢し合える仲間、学校にしていきましょう。



◆ 地域の皆さん、ありがとうございます。

新学期となり、登校班長が代わり1年生が加わりました。安全サポーターさん、地域の皆さんに見守っていただき、安全に登下校することができます。交差点に立って横断を見守ってくださる方、通学路に出て子供たちのうしろ姿を見送ってくださった方、子供たちの登校時刻に散歩の時間を合わせてくださる方、地域の皆様のご協力、励まされて登下校することができます。別れ際の「行ってらっしゃい。」の声、子供たちの一日のエネルギーになっています。ありがとうございます。

校長 古市 諭香